

第19回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー 分科会の選考指針

若手医師のための家庭医療学冬期セミナー（以下、冬セミ）は家庭医療・総合診療を学ぶ、医師3-10年目、専攻医を主な対象としたセミナーであり、日本プライマリ・ケア連合学会の開催する家庭医療学夏期セミナー、秋季生涯学習セミナーの中間世代を対象としたセミナーです。

年次、職場環境、学習段階の異なる様々な参加者のニーズに応えることができるように、また、過去の冬セミや他のセミナーなどとの内容の重複に留意しながら分科会として、24のワークショップ（以下、WS）と講演を現地で開催します。さらに後日、収録セッションのオンデマンド配信も形式の一つとして開催する運びといたしました。

WSはスタッフより開催を講師に依頼する依頼WSと学会のメーリングリスト等で公募を行いスタッフで採用を検討する公募WSの2つに分け企画を進めています。

依頼WSにおいては、現地開催ならではの①家庭医療・総合診療のコアとなる内容で確実に開催したいWS、②募集が困難な他科領域のWS・講演を念頭に前年度冬セミでは4つのWSをlive配信セッションを行いましたが高年度は6つのWSを選考する方針としております。依頼WSについてはスタッフで相談し、6つのWSを選定していく方針としております。

公募WSについては、募集期間中に応募のあったWS から、18個のWSを採用して開催する予定としています。前年度冬セミは20個のWSをLive配信セッションで行いました。

採用WSは複数回のスタッフミーティングを経て決定いたしますが、選考の指針として、下記の4点を優先的に採用する見込みです。

- ① 家庭医療・総合診療のコアとなるテーマ
- ② 対象世代のニーズに合致するテーマ
（事前アンケートの結果、スタッフ評価の高いもの）
- ③ 家庭医・総合診療医に必要と考えられ、若手に共有したいテーマ
- ④ 開催意図が明確なWS・講演

応募多数の場合は現地開催をご希望でもオンデマンド配信形式でのご講演を依頼する可能性もございます。なお、オンデマンド配信のみの希望も承りますが、応募多数の場合には上記指針をもとに、選定させていただく可能性があります。

時間の制約上開催できるWS・講演は限られてしまいますが、多数のご応募を心よりお待ちしております。

第19回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

代表：溝越 けやき（亀田家庭医総合診療プログラム）

ワークショップ担当：森田 修平（静岡家庭養成プログラム）